

第1章

めざす都市像

1 めざす都市像

**であい ふれあい ささえあい
輝きつなぐまち**

都市像へ込められた願い

無形の思いは、人と人との出会いから始まり、他者へと紡ぎ、点から線へ、線から面へ、相互扶助の精神を広め、やがて溢れんばかりの愛情ある、支え合える参画と協働都市へと発展していきます。

そして、人やまちの資源が元気でいきいきと輝ける都市として、この先もずっと引き継いでいきたいという、市民の幸せ実現への願いが込められています。

都市像のコンセプトと総合計画の愛称（～かわにし 幸せものがたり～）

川西市民の「幸せの実現」に向けた共通のキーワードとなる「つながり」という概念を、『出会い』『ふれあい』『支え合い』という意味を込めた、3つの“あい”で表しました。

『であい』は、ひと・もの・ときを越えた様々な出“会い”や、“あい”さつなどの小さなつながりを、『ふれあい』は、様々な“相”手との関わりや、交流を、『ささえあい』は、困った時はお互いさまという相互扶助精神“愛”や、力をあわせて困難を乗り越える団結力や地域力を表しています。

これら3つの“あい”には、人と人とのつながりにおけるたくさんの馳せる思いや、郷土を愛する気持ちが込められており、絆を生む礎となるものです。これらの“あい”が人やまちの営みの中で育まれていくことで、大きな“愛”すなわち市民の“幸せ”への実現に向かっていきます。

また、第5次総合計画の愛称を「かわにし 幸せものがたり」として様々なまちの担い手とのコミュニケーションツールとして共有していきます。



市民と共有できるロゴの掲載・説明